

経営比較分析表（令和4年度決算）

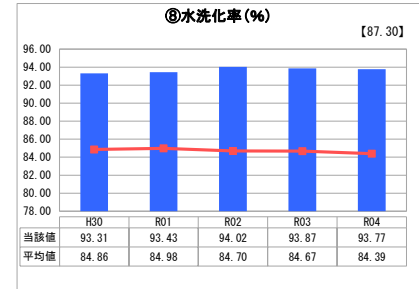
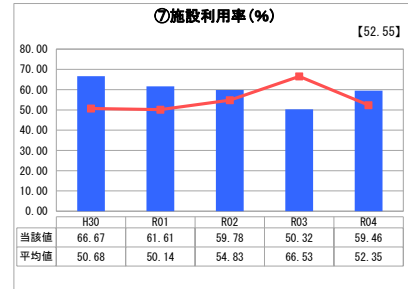
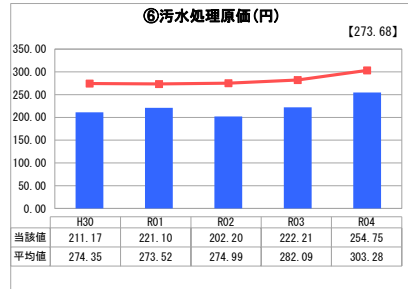
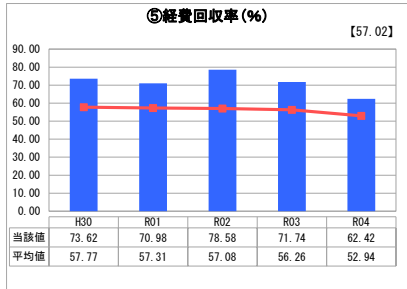
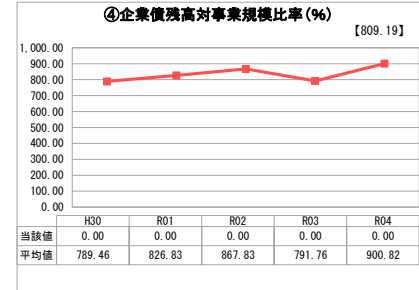
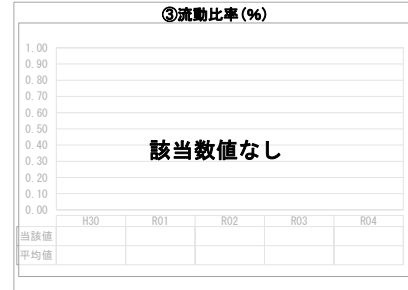
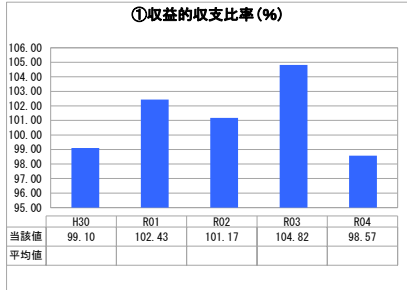
栃木県 益子町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.08	86.49	2,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
21,876	89.40	244.70
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,975	1.00	1,975.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
R1～3年度は100%を超えていたが、R4年度は100%を割り込んでいて単年度収支は赤字であり、一般会計からの繰入金に依存した経営となっている。引き続き経費削減をしながらも料金水準の適正化を図っていく必要がある。

④企業債残高対事業規模比率
面的整備は完了し、以前から0%である。

⑤経費回収率
100%を下回っており、汚水処理に係る費用を賄っていない状況である。健全な経営のため更なる経費削減や財源確保を図る必要がある。

⑥汚水処理原価
類似団体と比較すると低いものとなっている。今後も経営改善の努力を継続していく。

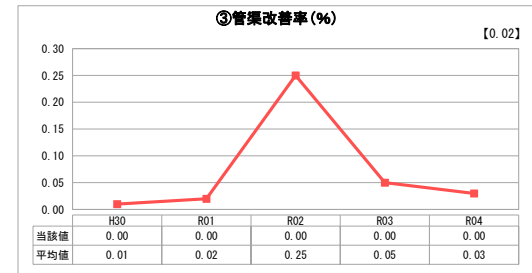
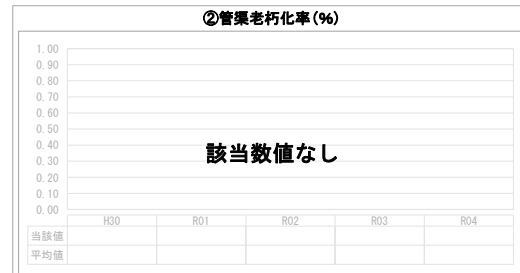
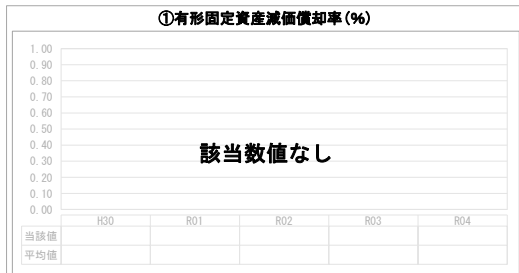
⑦施設利用率
類似団体と比較すると上回っているものの、今後も適切な施設規模を維持する必要がある。

⑧水洗化率
類似団体と比較すると高い状況にあるが、今後も維持管理等の財源確保のために、水洗化の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路施設は供用開始からの期間が比較的短いこともあり、管路の老朽化はまだ進行していないが、今後は老朽化による計画的な修繕や更新が必要となってくる。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営の健全性・効率性の項目によっては、類似団体の平均値より数値が上回るなど評価できる面もあるが、収益的収支率は、100%を割り込んでいて単年度で赤字となっている。今後も収入増や公共下水道への統廃合など経営改善へ向けた取組は継続していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。